

4/17

横浜市との友好交流

### 友好交流のチューリップ花開く

村と友好交流協定を結ぶ横浜市の(公財)横浜市緑の協会から贈られ、植えられているチューリップの球根が美しい花を咲かせました。

このチューリップは、昨年に(公財)横浜市緑の協会から贈られた球根を、村内の各保育園が大切に育ててきたもの。

子育て保育園でも、色とりどりのチューリップが花開きました。園児たちは「きれい」「かわいい」と喜び、美しいチューリップに見入っていました。



友好交流のチューリップが咲いた子育て保育園

4/9

新型コロナウイルス感染症対策

### 飛沫防止で役場窓口に仕切り

全国的に猛威を振るう新型コロナウイルスの飛沫感染を防ぎ、来庁者と職員が安心感を持って接することができるよう、役場庁舎の窓口にあクリル板やビニールシートによる仕切りを設けました。

また、利根沼田地区管内で、新型コロナウイルス感染が確認されたことから、役場でも感染による行政サービス機能の喪失を防ぐため、4月21日から5月14日までの間、職員を2班に分け、職場と在宅での交代勤務を実施しました。



飛沫防止のあクリル板が設置された役場本庁舎

4/24

児童・生徒の感染症対策

### 先生方が手作りマスクを製作

村内小中学校の児童・生徒たちの新型コロナウイルス感染予防に役立ててもらおうと、昭和中学校と昭和未来塾の先生方が布マスクを手作りしました。

マスクを製作したのは、昭和中学校の阿部先生、小林先生、玉井先生と、昭和未来塾の森先生、尾崎先生、亀山先生。マスクの材料は、近隣の呉服店を訪ねて集められた、肌触りのよいサラシなどが使われています。村内小中学校の全児童・生徒のために作られた520枚のマスクは、後日各学校を通じて配布されます。



一つひとつ丁寧にマスクを作る先生方(昭和中学校)

4/21

地元企業による地域貢献

### 諸田葬祭総合ギフトが村に寄贈

(有)諸田葬祭総合ギフトの諸田一豊代表が役場を訪れ、除菌に効果のある次亜塩素酸水の生成装置を寄贈しました。次亜塩素酸は、強い酸化作用により菌やウイルス除去に効果的で、さらに臭いの元を分解することで強力な消臭効果を発揮するものです。

諸田代表は「全国的に拡大する新型コロナウイルス感染症の影響で消毒用アルコールが入手困難となっている今、村の公共施設などで皆さんに有効に活用してもらえれば」と話しました。



次亜塩素酸水生成装置を寄贈した諸田代表(右)